



初等教育教員養成課程 美術選修3年
近田 彩さん・鮫嶋 笑美子さん
 愛知県立豊丘高校出身(二人とも)

楽しくって、大忙しの美術科ライフ

皆さん、愛教大の美術選修・専攻にどんなイメージを持っていますか？
 絵が上手でないといけないと思ってませんか？ 実は、私たちもそう思
 っていました。高校時代、美術をあまりやっていなかったため、二人とも入
 学当時は本当に不安でいっぱいでした。実際に授業を受けてみて、その
 考えは一変しました。例えば、絵画の授業では小学生でも扱う水彩絵の
 具を使った実技から始まります。工芸では糸ノコギリなど道具の使い方
 から習います。先生や先輩方に基礎からしっかり教えていただけます。
 私たちの心配は無用でした。このページの写真は、1年生が塑像を基礎
 から習っている授業シーンです。また、授業は制作が多いので、みんなと
 大学にいる時間が長く、とても仲良しになります。課外活動として地元
 商店街のイルミネーションをみんなで制作したり、楽しいけど大忙し！
 ぜひ、あなたも美術科ファミリーの一員になってみませんか。



美術選修・専攻は
 こんな人におすすめ

01
 絵画や彫刻など
 アートに興味のある人

02
 「つくる」ことに
 魅力を感じる人

03
 美術という領域を
 深く学びたい人



初等教育教員養成課程 募集人員/25名

中等教育教員養成課程 募集人員/6名

美術選修

美術専攻

制作や構想、鑑賞の知識を深め、美術を教え育む能力に優れた人材を育成します

初等教育教員養成課程/美術選修

中等教育教員養成課程/美術専攻

<主な学修領域> ■ 絵画(絵画・版画) ■ 彫刻 ■ デザイン
 ■ 工芸 ■ 美術史 ■ 美術科教育学

美術は、美術館などの特定の場所だけで目にする限定的なものではありません。社会生活の各シーンでの幅広い美術の役割・認識の定着には、美術教育という視点が不可欠です。この一助として、愛教大では、美術に関する豊富な知識と造形力の習得をベースに、社会生活を担う美術を教え育む能力の開拓を目指しています。

教員養成課程では、小・中・高等学校の教員になるための専門教育科目が開設されていますが、美術選修・専攻では、さらに下記の領域に関する専攻科目を学びます。低学年次は、全ての領域を学びますが、卒業研究では、下記の中のいずれかを選択し、自己の集大成として進めます。

■ 絵画(絵画・版画)

表現というものは、どんな分野であっても中身がきちんと相手に伝わるのが重要だと考えます。自己満足的な表現を進めるなら学校は必要ありません。本学の絵画教育では、いろいろな「モノの見方」と「描き方」が理解できるような基礎固めを重視しています。絵画と版画の領域から成っています。

■ 彫刻

粘土によるレリーフなどの制作をはじめとして木彫、石彫、鍛金の基礎的な表現を学修します。道具等の扱い方、材料の特性も修得します。展開では人体表現の研究や現代美術の現状、市中のパブリックアート、野外彫刻について考察します。陶彫制作に必要な窯も手作りで行っています。

■ デザイン

デザインとは、生活それぞれの場面での問題解決のマネージメント、と考えてみてください。その問題解決はFeelingでなくThinkingを基底とします。愛教大のデザイン教育では、そのプロセスである市場観察力・課題発見力・企画力・編集力の鍛錬を行い、社会への提唱物をプレゼンテーションする能力を養います。

■ 工芸

工芸領域は、立体造形に関する幅広い内容を含んでいます。授業では、木工芸・紙工芸・窯工芸(陶芸)・染織などの内容を中心に展開しています。卒業研究(4年次)では、各自が内容を決めて研究を行います(過去の例として、玩具・家具・照明・服飾など)。

■ 美術史

美術史は視覚イメージの歴史を考える学問、単に作品の歴史年表を作る学問ではありません。誰かが「何か」を伝えようとして遺した作品から、その「何か」をつかみ取る、そんな学問です。対象は、高松塚古墳の壁画から、キャラメルのパッケージまで、目で見られるために作られたすべての「作品」です。

■ 美術科教育学

美術科教育に関する内容や課題について理論的かつ実践的な研究を行います。小学校「図画工作科」・中学校「美術科」に関することを中心に、美術教育の理念や歴史、教科書、外国の事例、メディア教育、美術館でのワークショップなど多様な視点から、美術教育の課題を探究しています。



富山 祥瑞 教授

担当科目/デザイン基礎、デザイン制作、
 デザイン実技、
 図画工作科教育 など
 専門研究分野/デザイン教育、マーケティング

こんにちは、美術です!

絵を描いたり、ものを作ったり、作品を観たりするのが好きな人。小学校の先生になりたい人。中学校の美術の先生になりたい人。私たちが応援します。美術を道路に選びたいと思うと、まず「持って生まれた才能が必要なのでは?」と考えてしまう人が多いのではないのでしょうか。しかし、あなたの「美術」への興味の萌芽こそ、大学教育を通して大切に育てていきたいと、私たち教員は考えています。実技試験では原点に戻り、高校生が普通に取り組みれば達成できる「観察力、基礎的な描写力・表現力」を診ています。特殊な才能や個性の発掘を目指しているわけではありません。入学後は、美術の幅広い領域(絵画・彫刻・デザイン・工芸・美術史)を始め、教育の観点からも美術を学んでいくことになります。私は、デザイン教育の面から皆さんの学びをお手伝いします。

取得できる免許・資格

[主免]卒業と同時に取得できる免許 [副免]所定科目の単位修得により取得できる免許

初等教育教員養成課程/美術選修

[主免]小学校教諭1種免許
 [副免]中学校教諭1種免許(美術)
 高等学校教諭1種免許(美術)
 幼稚園教諭2種免許

[資格]学芸員(一定の条件のもとに所定科目の単位修得が必要です)

中等教育教員養成課程/美術専攻

[主免]中学校教諭1種免許(美術)
 [副免]小学校教諭1種免許
 高等学校教諭1種免許(美術)

[資格]学芸員(一定の条件のもとに所定科目の単位修得が必要です)

将来のフィールド

正規の小・中学校の教員のほか、講師を経た後、また大学院を修了してから教員になる人も増えてきました。



「光藝展」より(工芸領域)



卒業制作(絵画領域)



卒業制作(デザイン領域)



美術のホームページ(www.art-edu.jp)

美術